

さよなら、ソンタッグ エド・マルレーニン

ここ数年の内にジョージタウンにいたことのある人なら、きっと彼を見たことがあるはずだ。顔立ちの優しい、鼻が白髪になりかけの、左耳をお茶目に傾けた大きなジャーマン・シェパード。あなたは、私の緑色のランドローバーの助手席を改良した専用のベッドで寝入っている彼を見てくれたのだろうか。それとも、たいていの人々がそうであるように彼が犬用の車椅子に乗って通りをぶらぶらしているところを見たのだろうか。

彼の名前は「ソンタッグ」、ドイツ語で日曜日という意味だ。日曜日に生まれたから。ソンタッグは私の犬だった。

私たちがいっしょにいるところを見かけたあなたは、微笑んで何か言葉をかけた人かもしれないし、私が何度も何度も聞かれた例の質問の数々をあげた人の中にいたのかもしれない。

もしかしたらあなたは、ペンシルバニア大通りの真ん中でコンバーチブルを停めて立ち上がり、拍手をしながら「ブラボー！」と叫んだ人かもしれない。

それとももしかしたらあなたは、私に握手を求めた大勢の中の一人かもしれない。

「この犬に何があったんですか」と聞いた人には、はじめのうちは15分に渡る完全版の物語を語ったものだった。後になると、時間を節約するために私はただ「麻痺したんです。走ってた時の事故で。聞いてくれてありがとう」と手短かに答えるようになった。

あなたが「ああ、なんてすばらしい犬なんだろう」と叫んだ大勢の人の一人だったのなら、あなたは正しかった。

しかし、もし「ああ、かわいそ

うな犬」と言ったのだったら、それは間違いだ。ソンタッグはとても活動的な日々を送っていたのだから。

ソンタッグがいつかまた歩けるようになるのかと聞いた人々もいた。私はいつも「ソンタッグは今自分が歩いていると思っていますよ」と答えたものだ。

ソンタッグが何か罰するための器具に乗せられているんだと思って私を警察に連れていったカップル、それがあなた達だったのなら、私はあなた達を許そう。

あなたがしたり、言ったり、聞いたりしたことが何であろうと、あなたがたの反応や言葉はすべて私がああ事故の後ソンタッグに対して立てた誓いを守ろうと奮起するのに役立った。1998年の2月に起こった、ソンタッグの後ろ足を麻痺させてしまったああ事故からまもなくのうちに立てた誓いを。その誓いとはソンタッグを死なせ

So long Sonntag



If you spent time around Georgetown in recent years, I am sure you saw him. He was a big German shepherd with a sweet face, graying muzzle and rakishly cocked left ear. Perhaps you noticed him when he was sacked out in his custom-built bed in what used to be the front passenger seat of my green Land Rover. More likely, though, you saw him in the street, tooling around in his canine wheelchair.

His name was "Sonntag." it means Sunday in German, which was the day he was born. He was my dog.

If you were one of the people who saw us together, you may have smiled, commented or fired off one of the questions I was asked so many times.

Maybe you were the fellow who stopped his convertible in the middle of Pennsylvania Avenue, stood up, applauded and shouted "Bravo."

Or perhaps, you were one of the many people who shook my hand.

In the beginning, those of you who asked, "What happened to your dog?" got the 15 minute, unabridged version. Later, in the interests of time, I responded on the run: "Paralysed. Running accident. But he's fine. Thanks for asking."

If you were among the large number of people who shouted, "What an inspiration that dog is," you were right.